



Town Assembly Newsletter

Chatan

議会だより
ぎかい

No. 115

春号

- Spring -

2024年3月定例会

令和6年5月20日発行

議会 HPは
コチラから
Check!



もっと高く!
頑張れ鯉のぼり!!

主なCONTENTS

- 「188億円のまちづくり」～令和6年度予算～
- 請負契約・指定管理者の指定など
- 条例の制定・一部改正
- 繰り返されるパラシュート降下訓練に抗議決議・意見書!
- 閉会中の議会活動
- 「一般質問」17人が問う!

P2～3

PICK UP!

P4

P5

PICK UP!

P6

PICK UP!

P8

PII～27

北谷第二幼稚園 栄口区こいのぼり掲揚式

～ 北谷町令和6年度の主な事業 ～

謝苅中央線改良事業

5,711万2千円

※北玉小学校前の町道を拡幅します



防災拠点整備事業(区域内道路等整備)

5,101万4千円

※消防署、給食センター及び防災広場の整備のため、アクセス道路(県道24号側)を築造します



北谷中学校改築事業

25億6,555万8千円(令和5～6年度)

※施設の全面改築を行い教育環境の改善を図ります



サンセットビーチ改良事業

1億2,100万円

※ビーチ全体にわたって抜本的な改良を実施しています



サンセットビューライン事業(園路整備)

1,330万2千円

※安良波公園園路拡幅実施設計を予定しています



町立博物館整備事業

- ①書架工事 2,208万4千円
②展示製作業務委託 6,465万8千円
③周辺整備工事(令和5年度繰越) 8,285万3千円
④周辺整備工事監理業務委託(令和5年度繰越) 1,313万円
※「北谷町の歴史文化・自然を未来につなぎ、未来に活かす、北谷・文化発信拠点」令和6年秋、開館予定です



令和6年度企業会計予算

令和6年度 北谷町水道事業会計予算

収益の収入及び支出

水道事業収益/11億1,913万5千円

水道事業費用/10億5,268万8千円

資本的収入及び支出

資本的収入/3,787万3千円

資本的支出/6億6,299万4千円

令和6年度 北谷町下水道事業会計予算

収益の収入及び支出

下水道事業収益/8億2,157万1千円

下水道事業費用/8億2,867万1千円

資本的収入及び支出

資本的収入/3億1,461万4千円

資本的支出/4億5,084万8千円

令和6年度特別会計予算

令和6年度国民健康保険特別会計予算

歳入歳出総額

39億3,967万9千円

令和6年度後期高齢者医療特別会計予算

歳入歳出総額

5億2,524万3千円

3常任委員会での当初予算に対する主な質疑・付帯意見

総務財政
常任委員会

3:45:20から
スタート



主な質疑

Q 沖縄振興特別推進市町村交付金の効果は

A 交付金の目的である主に観光振興の財源として、町の観光振興事業、文化振興事業、駐留軍用地等の先行取得事業等を行い成果がある。また、他市町村の交付金不用額を流用してもらい財源として町基本配分額以外にもこれまで20億円余り調達。

Q 町有地活用検討事業2千359万5千円の内容は

A 商工業研修等施設及び老人福祉センターの老朽化に伴い、施設の所在する上勢頭地区の再整備を検討する事業。令和6年度は、施設利用者や運営関係者と意見交換を行いながら、複合施設の整備方針や誘致する民間機能等も検討していく。

経済工務
常任委員会

4:00:57から
スタート



主な質疑

Q ネーミングライツ料の収入600万円の用途は

A 維持管理費に充てている。

付帯意見

浜川漁港新規漁業用施設整備補助事業(令和5年度予算約1億8千万円、令和6年度予算約2億1千万円)についての付帯意見
「三者協定を踏まえ、行政が漁業振興を率先して推進する事が重要であり、住民の理解を得るためにも行政が責任を理解し、透明性を確保する事が必要。今後、行政は議会に対して明確な計画を提示する事と、漁業振興に関する取組を事業者だけではなく議会と行政の協力のもとで進められる事を期待する」

文教厚生
常任委員会

4:18:00から
スタート



主な質疑

Q 認可保育園運営補助事業費6千870万円の加配保育士の配置及び加算は

A 加配保育士の要件は、要綱で保育士資格を有する者としている。心身に障害のある児童や発達に遅れがある児童を受け入れたときに、受け入れ児童1人当たり月額30万円を園に対して支給。

Q 博物館維持管理費4千303万4千円の内容は

A 秋頃開館する博物館の運営維持のための管理費。会計年度任用職員の報酬、光熱費、警備、清掃、保守委託料を計上。開館に伴うリーフレットや記念式典の業務委託は令和6年度限りの予算。

条例の制定・改正

PICK UP!

北谷町立博物館の設置及び管理に関する条例の制定について



3:15:45からスタート

賛成○13名
反対×5名
賛成多数で

可原決案

提案理由

令和6年に開館を予定していることから、公の施設である北谷町立博物館の設置及びその管理に関する事項について、条例で定める必要がある。

討論

反対討論 駐車場の閉場時間について午後10時以降は、大人と一緒に子どもたちを連れ歩かないとする方針や青少年健全育成、光熱費の負担などからみて原案に反対

賛成討論 午後11時が妥当でない場合、実情にあった閉場時間に変更することも可能で、博物館の周辺地域の変化等も考慮し、課題等が出た場合は調査検討し変更も可能と考え原案に賛成

PICK UP!

北谷町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について



2:23:07からスタート

可原決案

提案理由

保育士等の処遇改善を目的として、児童の年齢配置基準を定める家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準が改正された。そのため、本町が認可する家庭的保育事業所等における職員配置の見直し及び保育士配置の特例を追加するため、北谷町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部規定について改正を行う。

主な質疑

Q 町民への効果と財政等への影響は
A 保育の担い手の裾野を広げることで担い手が増えることを期待。緩和措置に関する条例改正で、対象事業所に支払う運営に関する財政への影響が2,100万円程度見込まれる。

北谷町議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定について

提案者は

議員・委員会・町長・住民

条例の

制定・改正・廃止

可原決案

主な内容 地方公共団体の議会の議員に係る請負の定義の明確化及び議員個人による請負に関する規制が緩和。各会計年度における請負の対価の総額が300万円を超えない場合は、規制の対象から除外することとなったため。

北谷町特別職に属する非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

可原決案

提案者は

議員・委員会・町長・住民

条例の

制定・改正・廃止

主な内容 北谷町特別職に属する非常勤職員の費用弁償のうち、宿泊を伴わない県内旅行の日当について、町長等特別職及び職員と同様に支給しない形で運用を行っているが、条例上明記されていないため条例の一部改正を行う必要がある。

北谷町営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

可原決案

提案者は

議員・委員会・町長・住民

条例の

制定・改正・廃止

主な内容 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護のための施策が強化される内容の改正が行われており、北谷町営住宅の設置及び管理に関する条例においても改正が必要。

北谷町母子及び父子家庭等医療費助成に関する条例の一部を改正する条例について

可原決案

提案者は

議員・委員会・町長・住民

条例の

制定・改正・廃止

主な内容 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護のための施策が強化される内容の改正が行われており、北谷町母子及び父子家庭等医療費助成に関する条例においても改正が必要。

北谷町企業版ふるさと納税基金条例の制定について

可原決案

提案者は

議員・委員会・町長・住民

条例の

制定・改正・廃止

主な内容 当該制度を柔軟かつ最大限に活用するため、北谷町企業版ふるさと納税基金条例を制定する必要がある。

令和5年度北谷町一般会計・特別会計・公営企業会計補正予算

一般会計補正予算(第8号)

補正予算額 1億8,411万7千円の増
歳入歳出予算総額 218億6,767万7千円

※物価高騰対応重点支援給付金支給事業のための補正。

可原決案

一般会計補正予算(第9号)

補正予算額 3億3,787万3千円の減
歳入歳出予算総額 215億2,980万4千円

※主に執行見込みに基づく減額補正。

可原決案

国民健康保険特別会計補正予算(第4号)

補正予算額 299万5千円の減
歳入歳出予算総額 41億1,303万4千円

可原決案

後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)

補正予算額 313万8千円の減
歳入歳出予算総額 4億3,210万6千円

可原決案

水道事業会計補正予算(第1号)

【収益的収入】補正予算額 92万3千円の増
補正後 10億8,811万7千円

可原決案

下水道事業会計補正予算(第1号)

【収益的収入及び支出】	下水道事業費用(支出)	【資本的支出】
下水道事業収益(収入) 補正予算額 1,795万8千円の増 補正後 7億8,283万3千円	下水道事業費用(支出) 補正予算額 346万5千円の増 補正後 7億7,788万3千円	補正予算額 25万5千円の増 補正後 4億5,487万6千円

可原決案

【請負契約の変更】

北谷中学校校舎改築工事

(建築) 変更額:2,476万1千円の増
1工区 変更後:8億7,726万1千円
(建築) 変更額:839万3千円の増
2工区 変更後:11億7,304万円



可決

【請負契約】

学校給食センター建設工事

(建築) 契約額:15億150万円
契約の相手方:旭建設株式会社・有限会社日幸建設 特定建設工事共同企業体
(電気設備) 契約額:2億9,590万円
契約の相手方:有限会社丸興電気・中部電機サービス 特定建設工事共同企業体
(機械設備) 契約額:6億3,679万円
契約の相手方:有限会社島設備・合同会社興和設備 特定建設工事共同企業体



可決

【指定管理者の指定】

北谷町シルバーワークプラザ

指定管理者:
公益社団法人北谷町シルバー人材センター
指定の期間:令和6年4月1日～令和9年3月31日
指定管理料:0円



可決

北谷フィッシャリーナ係留施設

指定管理者:北谷町漁業協同組合
指定の期間:令和6年4月1日～令和11年3月31日
指定管理料:各年度(令和6年度～令和10年度)1,380万円



可決

【財産の取得】

学校給食センター厨房機器

取得予定価格:5億3,900万円
契約の相手方:株式会社第一機行



可決

臨時会・定例会 議決結果賛否一覧表

議 案		議 決 結 果	議 席 氏 名																		
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
			仲宗根由美	新垣 千秋	津嘉山えり子	米須清 一郎	奥平 紋子	平田潤一郎	友利 勉	照屋 正治	大浜ヤス子	宮里 廣	喜友名朝哲	喜友名盛充	仲栄真恵美子	又吉 朋和	與儀 誠	阿波根 弘	高安 克成	玉那覇淑子	仲地 泰夫

第540回 北谷町議会臨時会 【令和6年1月16日(火)】

北谷町手数料条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	欠	欠	○	病	○	公	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
北谷中学校校舎改築併行防音工事(除湿・換気)請負契約について	可決	○	欠	欠	○	病	○	公	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議

第541回 北谷町議会臨時会 【令和6年2月2日(金)】

米軍嘉手納基地内でのパラシュート降下訓練に対する抗議決議	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	欠	欠	○	○	○	議
米軍嘉手納基地内でのパラシュート降下訓練に対する意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	○	○	議
令和5年度北谷町一般会計補正予算(第8号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	○	○	議

第542回 北谷町議会定例会 【令和6年3月4日(月)～3月27日(水)】

繰り返される米軍嘉手納基地内でのパラシュート降下訓練に対する抗議決議(※3/4議決)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	病	○	○	○	○	○	議
繰り返される米軍嘉手納基地内でのパラシュート降下訓練に対する意見書(※3/4議決)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	病	○	○	○	○	○	議
北谷町議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	病	○	○	○	○	○	議
北谷町会計年度任用職員の給与等に関する条例等の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	病	○	○	○	○	○	議
北谷町特別職に属する非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	病	○	○	○	○	○	議
北谷町母子及び父子家庭等医療費助成に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	病	○	○	○	○	○	議
北谷町営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	病	○	○	○	○	○	議
北谷町浜川漁港管理条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	病	○	○	○	○	○	議
令和5年度北谷町一般会計補正予算(第9号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	病	○	○	○	○	○	議
令和5年度北谷町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	病	○	○	○	○	○	議
令和5年度北谷町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	病	○	○	○	○	○	議
令和5年度北谷町水道事業会計補正予算(第1号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	病	○	○	○	○	○	議
令和5年度北谷町下水道事業会計補正予算(第1号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	病	○	○	○	○	○	議
北谷町監査委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	病	○	○	○	○	○	議
北谷町教育委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	病	○	○	○	○	○	議
学校給食センター建設工事(建築)請負契約について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	病	○	○	○	○	○	議
学校給食センター建設工事(電気設備)請負契約について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	病	○	○	○	○	○	議
学校給食センター建設工事(機械設備)請負契約について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	病	○	○	○	○	○	議
北谷中学校校舎改築工事(建築)1工区請負契約の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	病	○	○	○	○	○	議
北谷中学校校舎改築工事(建築)2工区請負契約の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	病	○	○	○	○	○	議
財産の取得について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	病	○	○	○	○	○	議

閉会中の議会活動

文教厚生常任委員会

所管事務調査(学校視察)

- 調査期間 令和6年 1月18日・2月1日・2月8日・2月22日
- 視察先 北谷中学校・浜川小学校・北谷小学校・北谷第二小学校
- 調査事項 小中学校の現状と課題及び対策について
- 調査目的 学校教育及び学校給食の現状及び課題の把握のため町内小中学校へ視察 学校長や学校運営協議会の話を聞き意見交換ができた。



議会改革特別委員会

「北谷町議会基本条例(素案)の協議について」町長へ手交

- 期 日 令和6年 2月5日
- 回 答 町の方針を決定するための時間的猶予がなく十分な審議を行うことが出来なく、慎重かつ相互の信頼関係をもって議論を重ねていくことが重要との回答を頂いた。



宿泊税に関する研修会

- 期 日 令和6年 2月9日
- 研修内容 宿泊税導入にあたり、制度の概要や今後の北谷町の観光振興について研修した。



沖縄県町村議会議員・事務局職員研修会

- 期 日 令和6年 2月29日
- 場 所 パシフィックホテル沖縄
- 研修内容 ハラスメント防止の講習を受け、議員としての在り方、秩序を学んだ。



北谷町議会だよりが沖縄県町村議会議長会 広報コンクール「奨励賞」受賞!

- 内 容 第20回沖縄県町村議会広報コンクールにおいて北谷町議会広報No.111号が奨励賞を受賞、2月29日にパシフィックホテルにて授賞式が行われた。





議員が聞いた！ 今とこれから



町立博物館、伊礼原遺跡の供用開始時期を伺う



令和6年秋頃の開館に向けて事業を進めていく

詳しくは動画をCheck

重要施設周辺及び国境離島等における土地等の利用状況の調査及び利用の規制等に関する法律について

問 本町が国へ提出した意見書について伺う

答 内閣府に対し「区域の範囲に係る地理的情報及び開発計画・開発行為はないこと」「町字の修正」の意見書を提出。

問 意見聴取の結果各行政機関の長と協議をし、第9回土地利用状況審議会が行われるとあるが本町はこの協議の対象になっているのか

答 指定区域案に関する市町村の意見聴取は1月31日で最後。今後は意見聴取の機会は設けていないとのこと。

問 施設ができることで水産業の振興と町民全体へどのような効果があるか

答 水産業事業への効果は浜川

浜川漁港水産物加工・販売施設を問う

問 沖縄県との協議内容や3町村連絡会の内容は

答 検討状況や令和8年度導入に向けたスケジュール等の共有をはじめ税率等の制度設計案に係る内容、県市町村間の制度の

宿泊税について

漁港漁獲物の消費喚起、水揚げ量の増加、魚価の向上、価格安定、漁業従事者の意欲向上及び経営安定、北谷町漁協の活性化、漁業就労への認知度向上。町民へは魚介類飲食の場・加工品等の提供、町民への還元策の実施、歩行者ネットワークにも隣接することからウォーキング中の休憩場所や町民と観光客が交流する場となることに期待。

水産業を発展させ豊かな資源を町民へ



宿泊税導入で豊かな北谷町を！

問 宿泊税を導入することで宿泊者への還元は環境整備等の部分になるかと思う。町民へはどのような影響があるか

答 第一義的には納税義務者である宿泊者の利便に資すること、また特別徴収義務者である宿泊事業者の意見を確認。滞在環境の質の向上を図ることで町民生活の質の向上を図っていく。

問 それぞれが個性を活かし活躍することができるとのジェンダー

令和6年度施政方針

平等のまちづくり、多文化共生社会の形成、行政サービス対応の充実をあげているが詳細を伺う

答 SDGsの理念、誰一人取り残さないジェンダー平等の実現を推進するとともに女性活躍推進法の施策、DV防止法の施策を包括して策定。住民相互が言語・文化の違いを理解し多様な価値観を認め合いながら地域特性を活かした交流活動の促進を図る。町内に居住している外国人・米軍人関係者向けに「北谷町暮らしのルールブック」を配布。

議案	議決結果	議席氏名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
			仲宗根由美	新垣千秋	津嘉山えり子	米須清一郎	奥平紋子	平田潤一郎	友利勉	照屋正治	大浜ヤス子	宮里廣	喜友名朝哲	喜友名盛充	仲栄真恵美子	又吉朋和	與儀誠	阿波根弘	高安克成	玉那覇淑子	仲地泰夫

第542回 北谷町議会定例会 【令和6年3月4日(月)～3月27日(水)】

米軍普天間基地所属垂直離着陸輸送機MV-22オスプレイの飛行再開に対する抗議決議	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	退	○	議
米軍普天間基地所属垂直離着陸輸送機MV-22オスプレイの飛行再開に対する意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	議
緑り返される米軍嘉手納基地内でのパラシュート降下訓練に対する抗議決議（※3/27議決）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	議
緑り返される米軍嘉手納基地内でのパラシュート降下訓練に対する意見書（※3/27議決）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	議
「重要施設周辺及び国境離島等における土地等の利用状況の調査及び利用の規制等に関する法律」の即時廃止と臨時的対応を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	退	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	議
北谷町固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
北谷町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
北谷町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
北谷町企業版ふるさと納税基金条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
北谷町立博物館の設置及び管理に関する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	×	○	○	議
令和6年度北谷町一般会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
令和6年度北谷町国民健康保険特別会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
令和6年度北谷町後期高齢者医療特別会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
令和6年度北谷町水道事業会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
令和6年度北谷町下水道事業会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
北谷町シルバーワークプラザの指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
北谷フィッシャリーナ係留施設の指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
国保運営方針改定にあたり、物価高騰などで困窮した県民生活と医療を受ける権利を守るためにも、保険税(料)引き下げ、減免制度拡充等国保制度改善を求める陳情書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
国保運営方針改定にあたり、物価高騰などで困窮した県民生活と医療を受ける権利を守るためにも、保険税(料)引き下げ、減免制度拡充等国保制度改善を求める意見書（※国機関宛て）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	議
国保運営方針改定にあたり、物価高騰などで困窮した県民生活と医療を受ける権利を守るためにも、保険税(料)引き下げ、減免制度拡充等国保制度改善を求める意見書（※県知事宛て）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	議

【表示の説明】

「○」：賛成者
「公」：公務の欠席者
「看」：看護のための欠席者
「除」：法律により議案の採決に加わらない者（除斥者）
「×」：反対者
「病」：傷病の欠席者
「介」：介護のための欠席者
「退」：退席の意思を表明した退席者
「産」：出産の欠席者
「配」：配偶者の出産補助の欠席者
「－」：議場に不在
「育」：育児の欠席者
「欠」：所用の欠席者
「議」：議長

議長の場合、過半数議決については、議決に加わる権利(表決権)はなく、可否同数の場合に決定する権利(裁決権)があります。特別多数決で法定されたものは議長にも表決権があります。

閉会中の継続審査・議員派遣の件

継続審査	・ 北谷町保育士確保緊急対策事業の継続交付の要望について(陳情)【文教厚生常任委員会】
議員派遣の件	・ 令和5年度及び令和6年度事業箇所等視察 ———— 令和6年3月6日(水) ・ 町村議会常任委員長・副委員長実務研修会 ———— 令和6年5月13日(月)



高安 克成 議員

詳しくは動画をCheck

Q 保育士の配置基準が76年ぶりに見直された。保育士数やクラス制の変更等の見通しは

A 待機児童の増加につながる懸念もあるが、保育士の負担が軽減されることで、保育士の獲得に繋がると期待する

問 外国籍児童の小中学校ごとの人数は

答 令和6年3月現在、小学校37人、中学校11人。

問 外国籍児童への取組と予算は

答 不安なく学校生活を送り、確かな学力を身につけられるよう「日本語指導学習支援員」を任用し、小学校へ2人配置。令和5年度は、2人の人件費として74万5千円を計上し執行。

問 日本語指導教諭の配置基準はあるか。ある場合、満たされているのか

答 対象の児童生徒は外国籍、二重国籍、帰国児童生徒を含め91人。児童生徒18人に1人の配置なので足りない状況。段階的に予算を確保しながら増員を要請している。

問 指導員からリクエストや、保護者、児童からの要望、苦情等はないか



研修を通じた日本語指導員の資質向上を望む

問 指導員の能力が高ければ高いほど、1人でも多くの子ども達が救われるのではないかと。研究等が力ギになると思うが支出する必要があるのか

答 琉球大学と連携を図り指導員の資質能力の向上に努めている。年4回程、町で研修会を実施し様々な情報交換を行い、指導員の研修を深めている。

問 単純な日本語指導ではなく、多面的に見ないといけない難しさがあるため、研修というのはとても大事だと思う。本町であればもう少し踏み込めるのでは

答 県内でも本町は、琉球大学と連携している方を採用。県とも調整し、日本語教諭を配置。町でも年に4回、日本語指導教室の研修会を実施。意見交換も交えながら新たな取組等を行っている。その研修により、同じような足並みで日本語指導がで

問 外国籍児童が置き去りにされていないか

答 各小中学校に日本語指導教室を設置し、県配置の日本語指導教諭2人と町配置の日本語指導学習支援員2人で指導。今年度9月から日本語及び日本の学校生活に早く慣れるための初期指導が必要な児童生徒のための「日本語初期集中指導教室」を試験的に北玉小学校に開設し、効果を検証中。外国籍児童生徒も、他の児童生徒同様、置き去りにされないことがないように取り組んでいる。



子どもたちの将来に光を当てるような独自施策を！

- 公共施設等について
- 個人情報漏洩について
- 博物館について

ほかに、次の質問をしました。

きていると認識。そのような中、日本語初期集中指導教室も新たに始めた。

Q 子ども施策の方針は

A 全ての子どもと若者が身体的・精神的・社会的に幸福な生活を送れることを目指す施策を推進



詳しくは動画をCheck



米須 清一郎 議員

子ども・若者の支援について

問 子ども施策の新たな取組は

答 子ども大綱や県の子ども計画に基づき各種施策を展開する。

問 令和6年度の新規事業の具体的な内容は

答 支援対象児童等見守り事業は、要支援児童の居宅を訪問し、家庭内の状況を把握するとともに、食事の提供等を通じた子どもが見守り体制強化を図ることが目的。親子関係形成事業は、子どもとの関わり方や子育てに悩みを抱えている保護者とその児童を対象に、講義やグループワーク等を通して児童の心身の発達状況に応じた情報の提供や各種相談、助言を行う。子育て世帯の訪問支援事業は、家事育児に不安や負担を抱えている世帯、妊産婦、ヤングケアラー等がいる家庭へ訪問支援員が家事や育児の支援を実施する。虐待リスクを未然に防止することが目的。



子ども、若者に対する適切な支援を！

問 発達段階に応じた性教育の取組と課題は

答 小学校では4年生以上各学年4時間程度、中学生は各学年2時間から5時間程度指導を行っている。生殖や避妊等の生命に直結するもの以外に、ジェンダー・ステレオタイプ等のウェルビーイングに関する問題等も重要な課題だと認識しており、今後は包括的な性教育をする必要がある。

問 授業以外に外部の専門的立場の方との連携は

答 以前は保健師や助産師の方を招いて性教育を行っていたが、コロナの影響で中断している。今後は学校の実態に応じて再度取り組む。

(1) 東部地域の将来像
豊かな自然と人の輪(和)が織り成す
おだやかで魅力ある生活空間が整っているまち
地域に残る緑や川の豊かな自然に加えて、起伏の激しい地形が生み出す眺望は、東部地域で流れる時間を穏やかにしています。車にも人にも優しい道路があり、子どもたちがリターンしたくなるような便利な生活空間が整っているまちをイメージします。住んでいる人も新たに住み始める人も、つながりの輪(和)が生まれるコミュニティが形成されているまちづくりを期待します。



東部地域住民の声を活かした住環境の整備を

- スポーツ振興と町の活性化について
- 公共交通及び町民等の移動支援について
- DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進について

ほかに、次の質問をしました。

問 空き家の現状と課題、対策は

答 平成30年度の調査では68件。空家は今後増加傾向になると見込んでいるので令和6年度に再度調査を行う。課題・対策として所有者等による管理責任の強化や空家の発生予防に取り組む必要がある。



障がい児(者)支援の合理的配慮の取組は



車いすも利用しやすい窓口、説明資料・案内文へのルビ振り。講演会やイベント等で手話通訳士の配置等



詳しくは動画をCheck

問 第539回定例会時点で、障がい児(者)への虐待・差別



障がいの有無にかかわらず
尊重し合える共生社会の
実現を!

答 事業者等を集めての啓発活動はない。広報ちゃたんに盲導犬に関する特集記事の掲載やアメリカンビレッジ事業者会、商工会、観光協会に盲導犬ステッカーの配布等、合理的配慮に関する啓発活動を実施。

問 誰でもSOSを発信できる仕組みづくり等は

答 広報誌等へ福祉課の障害福祉係の中に、北谷町障がい者虐待防止センターを設置し、通報や相談の仕組みがあることを掲載し啓発。ホームページでも障がい者虐待防止センター設置を



無人化する公園へ早めの措置を

る。後

問 遊具等がなく無人化している宮城区の公園へ、新たな遊具設置の検討は。また、剥き出しの木の根などの排除や危険箇所の把握や無人化する公園の活用方針は

答 既設の老朽化した遊具の更新を優先的に安全確保。木の根の除去は、専門家の意見を聞く必要がある。公園の緑は、砂ぼこりや騒音の緩和、大気の浄化等を調節する機能を持ち、災害時は避難場所の機能がある。今後も機能を維持し管理に努める。

無人化する公園の活用は

問 宮城1号線、2号線は路上駐車が課題。無人化する公園を駐車場にできないかを再度検討。

Cバス運行状況を問う

問 昨年の車種変更後の運行状況の増減及び年齢層や行き先の変化は

答 乗車定員減少に伴う運行状況の増減はない。Web予約の導入で30代と40代の利用者が増加。行き先の大きな変化は見られないが、新たに追加した「砂辺食品前」及び小学生の利用が多く見受けられる「奈留川西公園」で乗降回数が増加。



大規模災害等への対応力強化の対策は



町が担う公助の取組を拡充。自助・共助の強化、スマートフォンによる防災アプリの活用を促進



詳しくは動画をCheck

地震・津波・防災・減災対策の取組は

問 大規模災害への対応力強化の対策は

答 自助・共助の強化を図る取組は、居住地域等の災害リスクを知って頂くため、日頃から町ホームページや広報誌等で情報を発信。災害発生時には、的確な災害情報を防災行政無線、エリアメール、町公式LINE、テレビのデータ放送など伝達手段の拡充を図りながら、迅速な情報発信に努めている。住民が自ら災害情報を得る仕組みを推進し、スマートフォンによる防災アプリの活用を促進。令和5年3月更新の防災マップは、非常時持ち出し品及び家庭備蓄に関する情報、避難施設に関する情報など記載内容を充実。町が担う公助の取組は、指定緊急避難所・避難場所及び津波避難ビルの拡充を図り、防災備蓄品の整備拡充や民間事業者等との災害応援協定の拡充等。

問 町民の安全安心の為に、防災・減災センターの設置を検討

問 マイナンバーカードと健康保険証の紐付け状況は

答 令和6年1月時点で、国保加入世帯のうち約43%の2千191世帯、人数では約38%の3千346人が紐付け済み。後期高齢者医療保険は、加入者の約35%(992人)が紐付け済み。

マイナンバーカードの普及状況について



いつ起きるか分からない災害にあらゆる備えを!

で、総合的な診断や重複する投薬を回避した適切な処方を受けることができる。②高額療養費制度における限度額を超える支払いが免除されるため、一時的に医療機関等で自己負担するこ

水道水について問う



供給されている水は安全安心な水か

問 PFAS対策で停止している本島中部の水源で取水再開した。北谷町に供給されている水は安全安心な水道水か

答 国が定めた暫定目標値50ng/lを大幅に下回る2ng/lであり、水質の安全性に問題は無いとしている。



Q 重要施設周辺及び国境離島等における土地等の利用状況の調査及び利用の規制等に関する法律に対する見解は



A 住民等への不利益や、日常生活・事業活動への影響が生じることのないよう、内閣府に意見した

詳しくは動画をCheck

重要施設周辺及び国境離島等における土地等の利用状況の調査及び利用の規制等に関する法律について

問 同法案に対する本町の見解と対策（美浜の一部地域を除いて全地域が特別注視区域に指定された場合の影響等）は

答 平成5年12月26日、内閣府政策統括官より、重要土地等調査法に基づく4回目の注視区域及び特別注視区域の区域指定の候補地並びに嘉手納飛行場、キャンプ瑞慶覧及び陸軍貯油施設の周囲おおむね1千メートルの区域内を特別注視区域とする区域図（案）及び所在地域の町字リストが示され、区域指定が見込まれる区域の実情を把握するため、区域が指定される見込みの地域の実情などの意見聴取があった。本町としては、内閣府に対し「区域の範囲に係る地理的情報及び開発計画・開発行為はないこと」や「町字の修正」の意見を提出。本制度に対する本町からの意見として「本制度の運用に当たっては、住民や事

Q 子育て世帯と保育従事者の保育所入所基準を見直せないか



A 全体の中でもう少し重みを付けられないか検討する

詳しくは動画をCheck

保育行政を問う

問 令和4年度、5年度の待機児童数と令和6年度の見込み数は

答 令和4年度2人、令和5年度23人、令和6年度見込み数は54人。

問 待機児童と入所待ち児童の違いは

答 他の園に空きがあっても保護者が希望する園でなければ断る場合等は、待機児童のカウントから外れる。

問 公立と認可園の保育士の定数と不足数は

答 保育士必要数は145人。不足数は18人。

問 各園、定数枠の調整は適宜行われているのか

答 毎年行っているが、面積や人員等の要件など一定の縛りがあり、その範囲内での調整となる。

問 保育士確保事業は離職防止よりも確保することが大切だと考える。9千500万円の予算で採用できた人数は

	令和3年度	令和4年度
試験対策講座	2人	1人
県外保育士誘致事業	2人	0人
産休代替職員配置事業	未実施	1人
保育士正規雇用化事業	9人	7人
保育補助者雇上強化事業	30人以上	

デジタル格差

問 本町が行っている高齢者のデジタルデバйд対策は

答 令和5年度に情報政策課及び社会教育課でスマートフォン利用講座を実施。

問 担当は情報政策課なのか。住民サービスや福祉の観点から課題解決に向けた取組が必要だと考えるが、住民福祉部でその議論は行われているか。所見も合わせて伺う

答 様々な世の中のツールがデジタル化されており、担当部署としても必要な施策だと考える。

美浜駐車場について



誰もがデジタルの恩恵が受けられる町へ

問 特に夜の騒音問題について把握しているか、どのような対策が講じられているか、その効果は

答 改造車等が集まり、他の自動車の妨げや騒音を発する行為を確認している。対策として、駐車場の適正利用に係る看板設置、警備員の増員、チラシの配布を行っているが当該行為の縮小には至っていない。

問 警察に騒音問題について何らかの対応を依頼することは

答 3月に、観光課、基地・安全対策課、沖縄警察署、地域振興センター、アメリカンビレッジ



美浜駐車場周辺住民にしっかりと配慮を！

問 駐車場の条例には、ルールを守らないと過料を科すと明記されているがこれまでその事例は

答 これまでに過料を科したことはない。

ほかに、次の質問をしました。

- ふるさと納税について
- 美浜地区の公共トイレについて
- うみんちゅワープについて



国に十分な趣旨説明を求めよ（北谷町航空写真）

業者等に対し、国の責任において、制度の目的、内容、手続きや罰則及び区域の詳細等に関する事項について周知・広報に努めること。土地等の利用に関連しない情報の収集や、住民等の権利の不合理な制約等によって、住民等への不利益や、日常生活・事業活動への影響が生じることのないよう、最大限の配慮と法の厳格な運用を行うこと」を提出。

令和5年度行政懇談会について伺う

問 各行政区からの要望件数及

び主な内容は

答 新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮し、ウェブ発信を中心とした行政懇談会を実施。質問や要望は、全体で75件あり、内容は、多い順から「道路管理に関するもの」「公園管理に関するもの」「公共施設及び環境衛生に関するもの」等。今後、定期的に対応状況調査を行い進捗状況をホームページ等で公表し周知する。

道路行政を問う

問 北谷公園野球場前丁字路から美浜1号線にかけてドリフト走行のタイヤ跡が目につく。現状と対策は

答 2月24日に発生した事案について美浜区自治会より連絡を



タイヤ跡



ドリフト走行車に対する取り締まりの強化を！

受けている。当該事案の情報共有と対策について基地・安全対策課、観光課、美浜区自治会、地域振興センター、アメリカンビレッジ事業者会、沖縄警察署の関係者が集まり協議。今後、関係団体と連携し対策をする。



おおはま
大浜 yasuko 議員

詳しくは動画をCheck

Q 令和6年度新規事業について



A 女性相談及び男性相談支援事業、子育て世帯訪問事業、若年がん患者支援事業など



高齢者が
安心して
過ごせる
町に！

問 低所得者、非課税世帯の支援の確保はできていると安心したが低所得者、非課税世帯以外の住民への支援は

答 定額減税の恩恵を受けられない方については調整給付で給付金が支給される予定となっている。

問 物価高騰の中子育て支援は進んでいるが高齢者から年金だけでは生活が苦しいとの声がある、何らかの支援が必要だと思つが

答 住民税均等割非課税世帯へ物価高騰対応重点支援給付金として1世帯3万円、均等割のみ課税世帯へ10万円の給付に取り組んでいる。令和6年度は住民税均等割非課税となる世帯等に対して10万円の給付を予定、高齢者であることを条件とする給付金の導入は難しい。

高齢者福祉について

問 認知症対策の現状と課題は

答 中部地区の認知症疾患医療センターの外来受診枠が減少。認知症の早期発見、支援のため近隣のかかりつけ医、及び専門医との連携体制づくりが課題。

問 認知症を患っている方への支援は

答 本人、家族の不安、どういった対応が必要なのかという認知症安心ガイドを作成。身近に疑われる方がいる場合、福祉課への相談し、どういった状態なのか、どのサービスが利用できるのかの相談していくことが必要。

導水管老朽化について伺う

問 導水管の老朽化が危惧されているが、所見を伺う



整備が行き届いた
導水管の維持を！

答 管理している配水管は2021年度で5・83%の管路経年化



ともり
友利 議員

詳しくは動画をCheck

Q 北谷町上勢頭地区公共施設複合計画の内容は



A 関係者と意見交換を行い、整備基本計画の策定を予定している

問 観光二次結節点と期待される美浜駐車場の今後の取組は

答 令和6年度から令和7年度にかけて、美浜公共駐車場Aエリアで県が実証事業を行い、必要な機能の確認、利用者、交通事業者、地域のニーズの把握等を行う予定。

問 令和8年度導入予定のエリアマネジメント負担金制度の進捗は

答 エリアマネジメント団体から「地域来訪者等利便増進活動計画」の素案を受け取る予定。調整後に正式な申請を経て、町で認定できるよう手続き等を行っていく予定。

問 駐留軍用地の返還と跡地利用推進の取組計画は

答 返還について、キャンプ桑江南側、キャンプ瑞慶覧インダストリアル・コリドー及び陸軍貯油施設第一桑江タンク・ファームの返還時期は具体的な見通しが立っていない状況。跡地利用の推進として、現状の整理やま

施政方針を問う

ちづくりの課題等の抽出を実施するとともに、地権者との合意形成に取り組んでいる。



返還後の跡地利用に注目が集まっている

宿泊税導入について

問 宿泊税導入の目的ならびに検討委員会での検討内容と設計案を伺う

答 観光競争力の維持と向上を図ることを目的とし、新たな財源として宿泊税を考えている。委員会での検討内容として、法定外目的税の仕組みに関するこ

と、税制度設計に関すること、使途の方向性や管理運用方法などを検討。制度設計案について、沖縄県案の定額制よりも定率性に有利性があると意見を受けている。

問 本町の宿泊施設数と予想される年間宿泊人数は

答 宿泊施設数は約200事業者で予想される年間宿泊者数は約134万人を想定。



宿泊税の活用で更なる観光地整備の期待

問 沖縄県及び沖縄ツーリズム産業団体協議会との意見交換状況は

答 県と関係自治体に参加する県市町村連絡会が令和5年11

率となり更新を迎えた配水管等は、工事が短期間に集中しないよう長寿命化や延命化を行うなど北谷町アセットマネジメント計画に基づく更新整備を進めている。

子育て支援は

問 保育士の確保については緊急の課題だと思う。どの様な対策を講じていくのか

答 保育士の資格取得支援や働きやすい環境整備のため、保育士の処遇改善や業務効率化、業務負担軽減に向けた各施策を確実に実施し保育士確保のための新たな施策の実施を目指し保育士の定着率向上や質の高い保育サービスに取り組む。

問 保育士数は各保育園で満たされているのか

答 推計で18人が不足。様々な補助メニューを活用し保育士が北谷町にくる対策、保育所で仕事を続けたいと思える環境づくりをサポート。

働き方改革を問う

問 町職員数、会計年度任用職員数は何人か、時間外労働への影響は緩和されているか

答 正職員数244人、会計年度職員数357人。時間外労働の時間数は令和2年度をピークに緩やかに減少していることから時間外労働は少しずつ緩和していると考えている。

月に開催され意見交換を行っている。沖縄ツーリズム産業団体協議会との意見交換は、令和5年11月に当該団体が県に提出した宿泊税導入についての意見書に関し、情報共有及び意見交換を行っている。

重要施設周辺及び国境離島等における土地等の利用状況の調査及び利用の規制等に関する法律について

問 政府による住民説明会を求める考えは

答 住民説明会をやるべきとの思い。手続き方法や可能性を含め調査研究が必要。

ほかに、次の質問をしました。

●防災対策について



Q 町独自で保育士確保の為の就職説明会を行う考えは



A 町立保育所では就業案内などを実施。今後は認可保育所と就職説明会の開催を検討

詳しくは動画をCheck

Q フロン排出抑制、炭化水素ガス導入について見解は



A 脱炭素の推進に資するものであると考えられる。調査研究する

詳しくは動画をCheck

地球温暖化対策フロン排出抑制、炭化水素ガス導入の効果について

問 炭化水素ガス導入の見解は
答 炭化水素系冷媒の導入は、脱炭素化の推進に資するものであると考えられる。既に導入している自治体等から情報収集し調査研究する。



脱炭素化に向けて、効果的な取組を求める！

保育行政・保育士配置基準・処遇改善を問う

問 保育士の配置基準改善の現況は。また、本町において国の保育士配置基準の処遇改善策は有効か。現在の保育士配置基準について所見は
答 保育士配置基準の改正には経過措置が規定され、保育士の確保状況等を考慮し保育の提供に支障がある場合、当分の間、新たな配置基準を適用しないこ

とができる。今回の見直しは、保育士の処遇改善、保育の質の向上という点では、効果が期待できるが待機児童を多く抱えているため更なる待機児童の増加に繋がりがかねない。今後の動向を注視する。

障がい児保育に対する地方交付税措置は

問 障がい児保育・発達支援児の受け入れ体制は整っているか。支援を必要としている園児が希望通りに入所できているか
答 北谷町特別支援保育事業実施要綱に基づき実施。認可外保育施設で特別支援児童を受け入れた場合の補助メニューを次年度から創設する予定。可能な限り希望どおりの認可保育所で受け入れられるよう調整。

教職員の働き方改革について

問 教職員の欠員と各学校に配置されている教職員の支援員体制は



限りある資源を更に活かせる政策を求める！

問 嘉手納町を参考に、ジモティーと連携協定を結んで粗大ゴミの削減や町民のリユース意識の高揚、倉浜衛生施設組合の延命化、リサイクル率の向上のため取り組めないか
答 取組は把握している。今後も情報収集し検討。

トレーニング施設整備事業について伺う

問 トレーニング機器の選定はどのような方々をターゲットとした整備か
答 専門家のアドバイスを受け、一般やプロを始め各種スポーツ競技者の筋力アップに対応した機器を選定。

答 現在、小学校1人、中学校1人が欠員。教職員の支援体制は、学力向上学習支援員、特別支援教育支援員、小中学校英語指導助手、心の教室相談員、スクールソーシャルワーカー、臨床心理士、産業医、スクールサポートスタッフ、教員業務支援員等を配置。

道路行政と道路通報アプリ導入の効果伺う

問 栄口区内の老朽化したコンクリート蓋やグレーチング等の総点検及び改善策は
答 不具合の状況を確認し、危険を伴うような破損などを優先的に修繕している。

道路通報アプリの町民への周知方法と活用歴は

問 ホームページや広報ちゃたん2月号で道路通報システムを案内。公式LINEでもトップページのメニューに「道路損傷等通報システム」で簡単に通報できる。本システムを利用した通報件数は、12月、1月、2月のいずれも3件ずつで合計9件。不



充実したトレーニング施設に向け効果が出せる機器の選定を！

外国にルーツを持つ子への日本語教育・学校教育について

問 日本語教育が必要な子の総数に対して、日本語教室等の先生や支援員の配置基準（人数）は満たしているか
答 定数は、平成29年3月に「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」が改正され、令和8年度

具合等の対応状況は、毎月ホームページで公表。



町民が使いやすい道路通報アプリが誕生！

有機フッ素化合物PFAS汚染から命を守る取組は

問 町独自で予算化し、希望する町民の血液検査実施に関する所見は
答 国の対応が前進している状況にあることから、引き続き、国の動向を注視しながら検討。

妊産婦、幼児のエコチル調査の実施が急務と考える。所見は

答 環境省は「化学物質の人へのばく露量モニタリング調査」の本調査に向けた検討を進めるとしている。今後も国の動向を注視する。

までの10年間をかけた基礎定数、児童生徒18人に教員1人に漸次近づけるとなっている。現在、県配置の日本語指導教諭2人と町配置の日本語指導学習支援員2人、合計4人配置。

ほかに、次の質問をしました。
● 路上駐車対策について
● 無願埋立地跡の活用と付近の路上駐車対策について



Q 沖縄振興一括交付金の活用と財源確保の取組は



A 他市町村からの流用などを積極的に受け入れ、基本枠配分額以上の財源を確保。

詳しくは動画をCheck



今後の観光経済、国際交流等に向け
更なる英語教育を！

施政方針について

問 国際理解と英語教育の取組は

答 中学校英語スピーチカンバセーションコンテスト、中学生の英国交流派遣事業、ICT活用による全小学校でのオーストラリアとの学校間交流、町内の中高生を対象にハワイ短期留学派遣事業を実施。また、町立幼小中学校に英語指導助手（AET）を配置。町立小学校では、特別の教育課程を編成し、外国語活動を小学校1年生から実施し、担任と英語指導助手（AET）とのチームティーチングを基本に音声重視のコミュニケーション活動を実施。

問 伝統芸能及び芸術文化振興の支援策は

答 伝統芸能及び芸術文化は、後継者の育成など継承の困難さに課題があるが、より多くの人たちに関心をもってもらえるよう、ちやたんニライセンターを中心に披露、発信の場を設け、町立博物館では地域の歴史、文化、自然に関する展示を広く展開する予定。町内小中学校、公



本町に伝統芸能文化振興のための施設をつくれないか

問 キャンプ瑞慶覧、技術部地区跡地利用、インダストリアル・コリドー地区、キャンプ桑江南側先行取得事業の進捗状況、取組は

答 「キャンプ瑞慶覧施設技術部地区内の倉庫地区の一部等」は、「緑地・公園」用地として目標面積の取得が完了。キャンプ桑江南側は平成26年度から今年度までに「学校」、「緑地・公園」、「駐車場」用地の目標面積の取得が完了。令和6年度において

問 子どもの貧困対策と居場所の確保の支援策は

答 「教育の支援」「生活の安定」「就労の支援」「経済的な支援」など切れ目ない支援を行い、社会的に自立できるよう関係課の連携推進体制強化に取り組む。居場所の確保は、児童館を活用し、安全・安心な体験・遊びの機会を提供。地域のこども食堂等の居場所への支援策は、子ども居場所連絡会運営事業を実施し、地域のネットワークを構築。こどもの居場所運営が将来にわたって継続できるよう取り組む。

Q 災害時の食料品等を公立学校に備蓄できないか



A 学校等への分散備蓄も推進していく

詳しくは動画をCheck

北谷町の防災を問う

問 本町の備蓄品は何人が何日過ごせる分の備蓄量なのか

答 県の地震被害想定調査によると災害直後の避難者数は7千25人。本町の備蓄量は7千25人の0・36日分の備蓄量。

問 町民が安心できる量の備蓄品が必要だと思つた

答 備蓄品を毎年購入している。民間事業者と協定を結び更に多く確保できるよう努め、住民にも1週間分の備蓄を確保するように周知する。

問 女性向け、乳幼児向けの備蓄品は

答 女性向けの備蓄品は生理用品5千380枚、乳幼児向けの備蓄品はオムツ3千290枚、おしり拭き630袋、粉ミルク16缶、哺乳ボトル288本。

問 町内の女性に、災害時に必要な物品等のアンケートは取れないか

答 自主防災会議等で意見交換を行い、次のステップでアンケート

とも検討したい。



災害時に備え必要な備蓄品の確保を！

桃原公園東側について

問 桃原公園東側は窪地で安全ではない。窪地を底上げしフラットにできないか

答 過去に桃原区自治会からテナスコートの整備要請があり、検討を行ったが費用対効果の課題があり整備には至らなかった。窪地の底上げは過去の経緯や周辺との高低差が生じることから厳しい。

問 人の出入りが少なく危険である。底上げでなくても町民が安心して使用できる場所にできないか

答 どのような利活用ができるかを、地域の意見も聞きながら検討する。

問 車道側にあるトイレの撤去ができないか

答 利用者が少ないこと、公園西側のトイレ2箇所も近くにあるので、現状を踏まえ判断する。

問 車道に車を停めて利用している方を見かけるが、子どもの通学路で危険である。このトイレを撤去しても不便ではないと考えるが

答 公園利用者以外が利用していることや、車道に車を停めて利用していることも踏まえ、撤去するか判断する。



窪地で人目につかない公園は必要な改修を！

インクルーシブ公園

問 障がい児も健常児も、子どもから高齢者まで誰もが一緒に遊べる公園の整備ができないか

答 全国的にインクルーシブを意識した公園整備が増えている。今後、公園施設を更新する際にはインクルーシブ公園を意識した整備を行う必要がある。

ほかに、次の質問をしました。

●ミハマフレッक्स前交差点について



みやざとひろし 議員



詳しくは動画をCheck

Q 北谷第二小学校の駐車場は砂利敷地であり支障が出ている。対応できないか

A 小学校敷地全体の計画を検討した上で整備予定。当面は維持補修工事等で対応



環境が悪い駐車場の整備を！

問 平成30年に幼稚園が引っ越しをし、現在まで砂利敷地である。教育委員会としてどのような整備をするのか

答 今後の北谷第二小学校全体の施設整備計画等も検討した上で実施する予定。現状の使いづらさは把握しているので当面の間は安全に使えるように維持補修工事等で対応する。

問 砂利敷地なのでホコリで車が汚れ、雨が降れば水溜りができて靴も汚れる状況である。学校側からの要請は

答 令和6年2月に駐車場の舗装工事の要望書を受理している。

北谷第二小学校の駐車場整備

教育行政について

問 春休み期間の3日間延長について伺う

答 教職員の業務内容は年々多様化・複雑化しており、中でも学年末から学年始めまではクラス編成や新年度準備、書類作成など極めて多忙な時期となる。それを改善するため、規則の一部改正をおこない休業日を増やし負担軽減を図る。

問 春休みの日数が増えたことで、事務の引継ぎ等しつかりと対応ができるのか

答 春休みを増やすことで業務改善に繋がると考える。

問 在留外国人生徒のうち、日本語教育が必要な生徒数は

答 外国籍児童生徒や帰国児童生徒及び二重国籍の児童生徒で日本語教育が必要な児童生徒数は小学校73人、中学校18人、合計91人。

問 小学校における日本語指導員の雇用状況は

答 県配置の日本語指導教諭2



破損した通学路！早急な対応を！

問 どのような対応をするのか

答 段差等があると転んでしまう状況があるので、破損した

道路行政を問う

問 北谷小学校向けのひまわり坂では、誘導ブロック等が破損して危険であり、桃原区自治会からも修繕を求める声があるが見解は

答 ブロックが割れている箇所を数カ所確認しているほか、横断歩道や坂道途中の道路のひび割れも確認。補修が必要な箇所は早急に対応する。

人と町配置の日本語指導学習支援員2人の4人で指導を行っている。

Q PFOS・PFOAの国が定めた当該摂取量に対する見解は

A 国に対して要請も行っている。引き続き国の動向を注視する



詳しくは動画をCheck



なかがわゆみ 議員

PFASを問う

問 米軍基地内への立入調査を求めているが国からの回答は

答 令和5年3月、内閣官房沖縄連絡室長から軍転協に「普天間飛行場等周辺の湧水等からPFOS等が検出されていることを受け、沖縄県からはこれらの施設への立入調査を要請されている。政府としては様々な機会を捉えて立入調査について米側に伝達している」との回答。

問 他に町としてできることはないか

答 日米地位協定や環境補足協定の規定によって、立入調査の実現がなかなか進まない。協定の抜本的な改定に向けた取組に關しても軍転協と連携。軍転協の中でまた新たな取組等や対応等についても検討しながら今後とも早期に立入調査が実現出来るよう努める。

問 町独自の血中濃度検査実施に要する経費として、特別交付税が使用可能か県へ問い合わせや協議をしたことはあるか

答 特別交付税は大きく分けて基礎数値と特殊財政需要だが、県に問合せたところ対象外という回答。沖縄県におけるPFASに係る諸問題は、米軍基地由来である蓋然性が高いことから国の責任において対処する必要があると考える。今後も引き続き県及び関係自治体等と連携し粘り強く要請する。

保育所・幼稚園について

問 公立保育所の保育短時間の時間を8時〜16時と9時〜17時の2形態から選択ができるよう対応は可能か

答 現在、公立保育所を含めた認可保育では、選択制になっていない。今後は各施設と協議する。

学校教育について

問 令和4年度に進学先未定だった生徒へのその後の支援は

答 町青少年支援センターで、高校進学に必要な学力の定着支援や、子ども・若者総合相談センター（ソラエ）で学校や仕事、

北前区の道路整備は



子どもたちを全力でサポートする学校教育を

問 ローソン北谷北前店から北前区公民館側に向かう住宅地道路の丁字路の停止線周辺に安全運転を啓発する看板を設置できないか

答 町道安良波線から当該箇所に向かう車両に対して「スピード落とせ」「前方一時停止」「歩行者注意」の標示。ローソン北谷北前店側から当該箇所に向かう車両に対しては「右折は大回りで」の標示を行っている。



住民が安心して走行できる道路環境を！

問 設置後の確認方法は

答 パトロールしながら確認。



与儀 誠 議員



詳しくは動画をCheck

Q 砂辺浜川境界線拡幅整備の進捗状況は

A 令和6年度に予定している用地買収、物件保証が完了した後拡幅工事に着手

道路行政について

問 なぜ砂辺浜川境界線の工事は、調査や保証算定業務に時間を要したのか。整備に伴い国道58号の整備も必要だと思うが南部国道事務所との進捗状況は

答 店舗側に拡幅するというところで店舗駐車場の利用実態調査を行い店舗への影響を検証する必要がある時間を要した。国道の整備は工事に伴い一部国道の改修が必要となり平成3年度の実施設計で南部国道事務所と協議を行っている。

問 砂辺浜川線は複数の事業があり時間が掛かると思うが子ども達の通学路でもあり安全を考えグリーンベルトを引く必要があると思うが

答 安全対策については昨年カーブミラーを設置。グリーンベルト等は検討していきたい。

問 砂辺5号線拡幅工事は防衛局との協議はどこまで進んでいるか

答 土地を無償貸し付けになる

Q C-BUSと福祉行政の関係性は

A 交通弱者等の生活の質の維持・向上など

学校給食

問 町民の声をどのように拾っているか

答 コミュニティバス登録者、観光客や各種団体等にアンケート調査を実施。

問 循環型とデマンド型を複合しての運行、その場合の運営費と現在の運営費の違いは

答 デマンド型で利用者が増加しているため、路線定期型とデマンド型を併用して運行することは現在の運行台数では難しい。運営費の違いは、デマンド型は事前予約対応のコールセンタールの設置や配車システムの導入に係る経費が増加。

問 利用者を増やしたいのか一定の人が利用できれば良いと考えるのか。利用者が多ければ運営費が歳出されても町民への還元として考えられないか

答 令和5年10月からの条件付き本格運行の際、利用登録者数の増加、認知度や満足度の向上を掲げた。多くの町民に利用してもらいたい。

詳しくは動画をCheck



仲栄真 恵美子 議員

問 車体に企業広告をいただき、運営費にできないか。また、バス停のオーナー制度を導入し、バス乗車料金の負担を減らせないか

どの個別支援。不適応の児童生徒を対象に、作業チーム、支援シート、自己指導力育成、専門機関活用などのチーム支援。通常学級に在籍し、支援が必要な児童生徒に対しても、個々の実態に応じた支援を行っている。



C-BUSで交通弱者の救済を望む！

教育行政について伺う

問 グレーゾーンの子どもたちの救済は

答 対話のある授業、リレーション・ルールのある学級づくり、スマイルプログラムなどの支援。気になる児童生徒を対象に、解決志向的面談、リレーション作りや勇気づけ、ペアサポートな



保護者と向き合い、児童生徒の困り感の解決を

問 インターナショナルスクールの子どもたちへ、学校支援のボランティアを募集して配置できないか、と以前伺ったが、その後の動きは。また、無償・有償ボランティアの募集等の見解は

地域学校協働活動推進員を各学校に配置し、読み聞かせ、ミシンや調理実習、プールの見守り、校外実習の安全などに協力してもらっている。無償ボランティアの募集は、地域学校協働活動推進員を通して活用できるものと考えている。

のか買い取りになるのか確認をしているが、方針が定まっていない部分があった。今年度設計業務を行い活用する面積を算出して協議する。

パークゴルフ場について

問 パークゴルフ場に東屋を立ててほしいと要望したが進捗は

答 施設の利便性の向上を図るため、日差しを遮るための対策の検討を行っている。



快適なパークゴルフ場でもっと元気に！

税務処理について

問 20年近くも固定資産税を多

く納めていて今年度その還付金を受け取った事案について、なぜ20年も気が付かなかったのか伺う

答 増改築により戸数が1戸から2戸へ増えていることを町が把握しておらず、特別措置の算定が長期に亘り現状と違っていたため税額を更正し還付。当時の土地担当と家屋担当の連帯が不十分であったことが原因。

問 防ぐ対応策は

答 建物の状態や用途が変わる際は申請するよう納税通知書にチラシを同封し、広報誌やホームページで周知しているが現地調査を計画的に実施し強化した事務体制で課税誤りを防ぐよう努めていく。

共同墓地について

問 北谷町墓地基本条例の更新の際に現状の把握も含め共同墓地のアンケート等が進んでいるか伺う

答 墓地の現状把握アンケート等については令和6年度に予定している北谷町墓地基本計画の

改定の際に実施する。

博物館について

問 博物館の完成予定は令和6年度と聞いているがその他の周辺整備の進捗状況を伺う

答 博物館は令和6年4月から5月頃迄に建築工事が完成する予定。駐車場等周辺整備工事は秋頃の開館に向けて事業を進めていく。



待ちに待った博物館が、いよいよ完成間近に！



読者からの声



これから 北谷町漁業協同組合 について



北谷町漁業協同組合
代表理事組合長
座喜味 盛康さん

この議会だよりは、毎回関心をもって拝読させていただいております。

まずは、常日頃私も北谷町漁業協同組合に対し多大なるご理解とご協力を頂いております。皆様方に厚く御礼を申し上げます。

先日、議会傍聴をさせて頂く機会があり、行政の皆様、議員の皆様がここ北谷町における唯一の一次産業である漁業に対し大変関心を持って取り組んでいただいている事を目の当たりにして、深く感動を致しました。

私も北谷町漁業協同組合では、急激に発展したこの北谷町において、都市型観光地域における、ニーズに合った漁業や海

業を新たに取り入れ、また、昔からの伝統漁業などを若い世代にきちんと継承させていくことや沖縄の文化であるハーリー等を継続して守っていくことがとても大事だと思っております。

さて、私も北谷町漁業協同組合は、今年度さまざまな施設整備等が行われていきます。工事等が具体的に始まると近隣の皆様方には、ご迷惑をお掛けすることもあると思いますが、何卒ご理解頂きご協力の程宜しくお願い致します。

最後に、北谷町の全ての皆様方にも今後とも私も北谷町漁業協同組合に変わらぬご指導ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

令和6年6月定例会に傍聴に行こう！

令和6年6月11日(火)から開催予定

本会議を行う議場では、手話通訳及び補聴装置を御利用になれます。

インターネットで町議会を知ろう！

議会の日程についてもホームページでお知らせしております。

北谷町議会

検索



- 手話通訳は、傍聴予定日の7日前までに議会事務局へお申し込みください。
- 補聴装置は、傍聴受付の際にお申し出ください。議場は役場の4階です！

あなたも町議会を
傍聴してみませんか？



【後集】

3月定例会では、新年度に向け当初予算を含む30の議案審議がなされ、非常に活発な議論が交わされました。議会では暮らしや福祉、子育て、医療、産業、街づくりなど全ての観点から町民福祉の向上のため日々執行部と議論を重ねており、この「議会だより」で町民の皆さまに分かりやすく発信することを広報委員会は使命としております。また、表紙には地域の子ども達を積極的に採用しておりますので、我が子をぜひとお思いの父母の皆さま、お気軽にイベントの日程など広報委員会までお知らせください。

議会はいつでも町民の皆さまと共にありますので、直接でもインターネットでも議会を傍聴していただき、より多くのご意見、ご要望をお待ちしております。いつもご愛読いただきありがとうございます。

議会広報調査特別委員会
委員長 平田潤一郎

ご意見・ご感想、又はお問い合わせ

北谷町議会事務局 ☎(098)936-3382 FAX (098)936-9712